

# 子どものインフルエンザワクチン接種費用を無料に

## 2022年度決算特別委員会

### 総括質問

共産党議員団 福島宏子

2023年10月4日



質問する  
福島宏子区議会議員

子どものインフルエンザ予防接種を無料にすることについて

白金4丁目(旧裁判所住宅)の土地の活用について

白金の丘学園東側(旧裁判所住宅)の土地は、学校と一体的な活用を考えたも、港区が取得の方針を持つこと。

(区長答弁)

本国有地の取得を含め区の行政課題の解決に向けた活用の方針について、国と調整を進めていく。

区有施設に給水スポットを設置することについて

今、給水スタンドメーカーと協定を結び、施設に設置する自治体が増えている。区施設に給水スタンドを設置すること。

(区長答弁)

設置に適した区有施設や設置可能な場所等を検討していく。

コロナの支援の継続について

コロナ治療薬の自己負担の導入を中止し、公費負担による全額負担を継続すること。

(区長答弁)

国の動向を注視し、区民が安心して療養できるよう取り組んでいく。

保育園の一時保育への支援の拡大について

るなど、積極的にセンターを支援していく

一時保育の要望が高まる中、区は余裕活用型一時保育を拡大した。定員割れで運営が厳しい中、新たに今年度から私立15園が実施している。実施園の実態を把握し、必要な支援の拡大をすること。

(区長答弁)

実施に当たっては、現場の声を丁寧に聞きながら、事業を推進していく。



タクシーが拾えない高齢者の移動手段の支援について

山口県長門市では、自治体がいくつかのタクシー会社と提携して、地区ごとに予約すれば自宅近辺で乗ることが出来る「のろっちゃん」というデマンド交通が喜ばれている。

①これらを参考に交通不便地域と言われている白金や白金台の地域で、デマンド交通を早急に検討すること。

②旗のようなものを掲げれば優先してタクシーが止まってくれる、「タクシー

裏面もご覧下さい

区議会本会議の質疑は動画で見ることができます 港区議会を検索

日本共産党 港区議員団ニュース 2023年10月号  
 港区芝公園1-5-25 (3578)2945  
 ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

# 特別支援学校・私立小中学校などに通う児童・生徒にも給食費の助成を

オモテ面から続き

フラッグ」のような仕組みを事業者と提携して進めること。

(区長答弁)

①高輪地区における新たな交通手段として、JR東日本及びKDDIと試験導入に向け、協議を進めている。  
②高齢者の方がよりタクシーを利用できるように、便利な仕組みを活用できるような案内をしていく。

## ベンチのあるまちづくりについて

高齢者が増えている中、買い物途中で「一休み」するのにベンチは必需品だ。区道は当然だが、国や東京都に設置の協力を要請すること。

(区長答弁)

現在、区には、バス停や公園のベンチを含めて406か所に設置している。国道や都道のベンチは、バス停などに多く設置されているが、今後、バス停以外の歩道の幅員が広いスペースに設置するよう要請していく。

## 臨海斎場の増設計画を急ぐことについて

2018年7月に報告された資料を見ると、拡充計画はあるが、6基増設されるのは2030年度だから、今の火葬炉不足には対応できない。計画の前倒しを進めるべきだ。

(区長答弁)

火葬炉の増設数や供用開始時期等について、臨海部広域斎場組合や組織区である品川区、目黒区、大田区、世田谷区と協議していく。

## 神宮外苑再開発を見直すことについて

イコモス本部が「ヘリテージ・アラート」の発出について、神宮外苑を守ろうと呼びかけている。多くの著名人が反対を表明、反

響を呼んでいる。今まで情報が十分に公開されず、国民が知らない中ですすめられてきたことに問題がある。

①事業者は一度立ち止まって、多くの人の意見を聞くべきだ。事業者にとさらなる説明会の開催を要請すること。

②イチョウ並木のイチョウ4本が枯死の危険がある。万全の対策をするように、明治神宮に要請すること。

(区長答弁)

①更なる説明会の開催や情報発信に努めることを、先月25日に、事業者に対し文書で要請した。

②事業者からは、落葉時期が早い樹木に対しては、樹木医等とも相談の上で、土壌改良や肥料の散布などの措置を実施していると聞いている。今後も、いちよう並木を適切に保全するよう、事業者を指導していく。

## 学校給食の無償化の対象を拡大することについて

私立等に通う児童・生徒とその家族は、港区に住み、生活し、税金を納めている区民だ。先進区にない、特別支援学校、国立、私立、インターナショナルスクールなど、小中学校相当の子どもは、どこに通っていても全員支援すべきだ。

(教育長答弁)

私立学校等に在籍する児童・生徒に対する負担軽減策については、それぞれに課題を整理し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で、検討していく。

## 芝浦小学校の火災報知機について

9月19日午前2時40分ごろ、火災警報器がけたましく鳴り続け、近隣の住民は真夜中にたたき起こされた。原因が明らかになるまでの間、夜間警備員を常駐させること。

(教育長答弁)

夜間警備員の常駐は予定してい

ないが、原因の究明を行うとともに、速やかに交換する。

## 海外への修学旅行について

9月1日に区長の記者会見で発表され、ネットで拡散され、初めて保護者が知ることになった。予算も提案されていないのに、9月5日には、教育長名で「令和6年度海外修学旅行の実施について」との文書が保護者に配られた。アンケートをやっているが、実施することが大前提の内容だ。

①一度、立ち止まり、生徒、保護者、関係者の意見をよく聞いたうえで、方向を決めていく、民主主義の基本に立ち戻るべきだ。

もし、実施することにしてもクリアすべき課題が多々ある。パスポートの費用やキャリアバックのレンタル料金は、教育委員会が負担すること。特別支援学級の生徒に保護者が同伴せざるを得ない場合、費用は教育委員会が負担する等々、誰もが納得できる対策を検討すること。

(教育長答弁)

①区立中学校2年生の生徒及び保護者に対して、アンケート調査を実施し、来年度の実施に向けて期待することや心配することを聞いている。

今後、海外修学旅行の実施が決定した際には、これまで寄せられた様々な意見を踏まえ、生徒にとって安全・安心な海外修学旅行となるよう取り組んでいく。

②パスポート取得費用は、取得状況が生徒一人ひとり異なることから保護者に負担してもらう予定だが、パスポート取得費用を含めた海外修学旅行の保護者負担額は、従来の国内修学旅行の保護者負担額と同額とする予定だ。

公費負担するべき項目は、教育委員会が整理・検討した上で、1月に開催を予定する保護者会で説明を行う予定だ。